

接合科学カフェ 第9回「60分のミステリーツアー ―粒(つぶ)―」の開催

植原 邦佳

技術部 技術職員

令和2年11月17日(火)にアートエリアB1(京阪電車中之島線『なにわ橋駅』地下1階コンコース)の実来場観覧とオンライン観覧を併用した形式で第9回接合科学カフェが開催されました。

『接合科学のミステリーツアー』をメインテーマとした接合科学カフェの第3弾となる今回は、カフェマスター 伊藤 和博 教授の司会進行のもと、ゲストスピーカーの阿部 浩也 准教授が「60分のミステリーツアー ―粒(つぶ)―」と題して講演を行いました。

米や片栗粉に代表されるように“粒”は身の回りにも多く存在していますが、実は複雑で“未知”にあふれた領域。“粒”の秘密を探るミステリーツアーが始まりました。

まず、粉砂糖と氷砂糖を例に、「小さい粒ほど溶けやすく、反応速度が速い」といった、粒の反応性についての説明があり、その後ナノサイズの粒の接合体を燃料電池開発に応用する研究事例が紹介されました。次に、粒の大きさによって変化する色や小さなガラス粒でコーティングした水滴の挙動、磁石を近づけると固まる液体など、とても興味深い実験の様子を織り込みつつ、“粒”の不思議な性質が紹介されました。途中で投げかけられるクイズでは、実来場観覧者とオンライン観覧者が共に挙手にて講演に参加する場面も見受けられました。また、オンラインにて多くの質問やコメントを頂くことができ、30名をこえるたくさんの皆様と“粒”のミステリーツアーを楽しむことができたように思います。

第10回は令和2年12月18日(金)に『60分のミステリーツアー ―ゆがみー』と題してゲストスピーカー 麻 寧緒 教授、カフェマスター 井上 裕滋 教授で行います。是非ご参加下さい。



ゲストスピーカー 阿部 浩也 准教授



カフェマスター 伊藤 和博 教授



会場の様子